

火の用心通信 (2014年3月) No.28

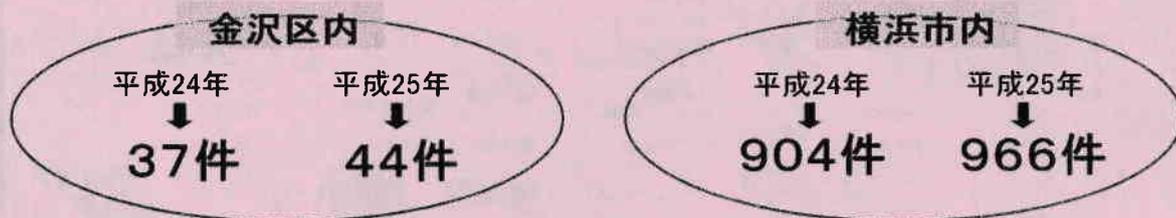
横浜市金沢消防署

「たばこ」と「てんぷら油」による火災に注意!

昨年、金沢区内の火災件数が最も多かった月は何月だと思いますか？
実は3月が最多で、7件の火災が発生しました。
徐々に暖かくなってきている中で、もう一度防災意識を高めましょう!!

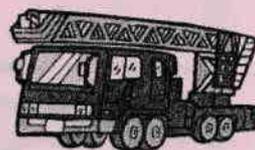


●平成25年中の火災件数



★金沢区内の昨年の主な火災原因は、「たばこ」がワースト1位でした。

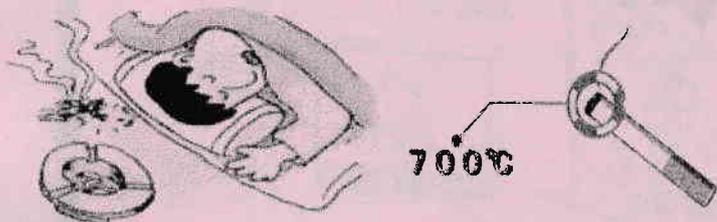
実例 ・火種が残っているたばこの吸殻を、枯草に捨てたため出火した。
・布団の中でたばこを吸い、火種が床にあった紙類に落下したことに気がつかず、そのまま寝てしまった。



その他、調理中に食用油が過熱され出火する火事が増加傾向にあります。
→油を加熱する際には、その場を離れないようにしましょう!

◎何気なく吸っているたばこの温度は700℃もあります!

◎食用油による出火は、コンロにかけた天ぷら鍋を放置し、火災になるケースが増えています!



《たばこによる火災の防止策》

1. 寝たばこは、絶対にやめましょう。
2. 歩きながらの喫煙やポイ捨ては、絶対にやめましょう。
3. 灰皿の中には、水を入れておき、周りには燃えやすい物を置かないようにしましょう。
4. 吸い終わったら、火は完全に消すようにしましょう。
5. 吸殻を捨てるときは、一度水にさらすなどして完全に消えたことを確認してから捨てるようにしましょう。

《食用油過熱出火による火災の防止策》

1. 揚げ物をしているときの電話や来客などで、その場を離れるときは、必ず火を消すようにしましょう。
2. コンロの周りには燃えやすいものを置かないようにしましょう。
3. コンロやゴム管等は、定期的に点検しましょう。
4. 使用しないときは、必ずガスの元栓を締めましょう。

3. 11東日本大震災から3年...

2011年3月11日の東日本大震災から3年が経過します。防災意識を見なおし、いざというときのために、家での備蓄、また避難するときですぐ持ち出せるように、非常持ち出し袋を用意しておきましょう！

家での備え.....食糧・水・生活用品等は最低3日分の蓄えが必要です

食糧

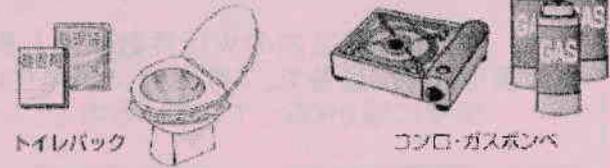


水

1人分=1日3リットル×3日分



トイレバック・燃料等



非常持ち出し品の例.....すぐに持ち出せるようにリュックなどに入れておきましょう

■1人に1つ用意して、すぐに持ち出せる場所に置きましょう。

食糧

飲料水

ナイフ
缶切り

現金通帳
現金
印鑑

身分証明のコピー

救急セット

常備薬

タオル

ビニール袋

懐中電灯

身分証明のコピー

救急セット

常備薬

着替え一式

ティッシュ

生理用品

調理用ラップ

懐中電灯

電池

携帯ラジオ

軍手

筆記用具

ロープ

津波からの避難方法

津波は遠くからやってくるので、小さな地震でも油断してはいけません！

地震発生

ラジオ・テレビ 防災情報Eメール等から正確な津波情報を入手しましょう。また、横浜市からの避難勧告・指示などに注意しましょう。



避難について

高台へ避難

いち早く高台に避難しましょう。遠くに逃げるより高い場所へ逃げることを心がけてください。



建物へ避難

建物に避難する場合は、鉄筋コンクリート造等の地震の揺れによる被害のない高い建物のより高い階へ避難しましょう。



① 気象庁からの津波注意報や津波警報が解除され、海岸や河口に近づかないようにしましょう！

↑ 金沢区のホームページ、金沢区防災マップより抜粋 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/somu/syomu/bousai-mini.html>

金沢消防署のホームページで「かわら版」「火の用心通信」を見ることができます。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/18syosyo/kanazawa/kanazawa-inf.html>

